

発行元 天見地域まちづくり協議会 会長 原五郎
協力 河内長野市役所(自治協働課)

児童と住民の交流すすむ

天見放課後学習会

学校再開にあわせて6月からスタート!!



地域みんなで力を合わせて地域課題の解決に取り組むと、平成27年2月に設立された天見地域まちづくり協議会。これまで買い物ツアーや空き家の調査、ウォーキングなどを実施し、設立から早くも5年目に突入した。

4月からは、地区福祉委員会や老人会、民生・児童委員と協力し、天見小学校・学校運営協議会が行う「天見放課後学習会」に協力する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴

い、天見小学校が休校となり、学習会のスタートが遅れていた。

この学習会では、主に低学年児童を対象に、高学年より早く授業を終えた約1時間を住民ボランティアが見守ることで、低学年と高学年が一緒に下校できるようにするためのもので、学校や保護者の負担軽減にもつながる。

初日となった6月9日、現地を訪れてみると、ボランティア2人が紙芝居を読み聞かせ、子どもたちが静かに楽

しそつに聞き入っていた。また、その日に出された宿題を終わらせようと教え合う姿も見られ会話が弾んでいた。

児童の安全確保や保護者の負担軽減につながるこの取り組みは、入学者の増加、そして学校の存続に結び付くことも期待できる。教育目標「なかよし・けんこう・とりよく」は不滅である。

今後も、特別な行事などが無い限り毎週月～金曜に実施するので、ぜひボランティアへの応募をお願いしたい。

天見放課後学習会ボランティア申込書

お名前	
お電話番号	
活動可能日	平日いつでも ・ () 曜日のみ ・ 他 ()

各自治会の役員へ提出(天見小学校の保護者は小学校へ提出)

流谷地区福祉委員会

流谷は、山間部に16軒の家屋が点在した天見小学校区でもっとも小さな地区です。流谷地区福祉委員会では、小さい地区ながらも、少子高齢化に負けず、福祉活動に精を出しています。例えば、「ミニサロン一休」の活動を、年5〜6回は開催しています。

7月は、半夏生で小麦餅を作り、「珍しいね」「美味しいね」と話が弾み交流の場が広がりました。

8月には、不動さんのお餅つきがあり、みんなで約600個のお餅を作って餅まきを敢行し、子どもたちなどに餅をふるまい賑わいました。



10月には、天見地区、流谷地区の秋祭り、地元で獲れたお米でおにぎり、地元で獲れたシャガイモなどでおでんを作って食べたほか、ビンゴゲームで盛り上がりました。他地域の福祉委員会との交流の場にもなりました。

12月には、集会所に材料を持ち寄ってお正月用のしめ縄を作り、新年を迎えました。寒い時期でしたので、豚汁も作り、世代間交流ができました。

このような取り組みを今後も続けていけたらと思います。

西尾猛

日本遺産に認定

天見地域を含め、和歌山〜大阪〜奈良の境にまたがる山々は、修験道の聖地として有名である。この地には多くの経塚や滝・巨石があり、今も多くの修験者がほら貝を吹きながら修行で巡る貴重な場所となっている。

このたび、河内長野市が和歌山県や奈良県の市町村とともに申請していた「葛城修験〜里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」というストーリーが日本遺産として認定された。

天見地域では、流谷金剛童子如来寿量品、天見不動分別功德品、岩瀬経塚山随喜功德品の3つの経塚がある。今後、市が観光誘客に取り組む予定とのことで、地域として期待したい。



「日本遺産とは」
 世代を超えて受け継がれてきた地域の歴史的魅力や特色をわかりやすく文章化したストーリーなどを文化庁が認定する制度。



新聞の編集に協力を

記事を書ける人、カメラで撮影できる人。経験不問。詳細はメールで

terumici0822@gmail.com